

あきらめないで！
願い集めて
大切にしたい、
くらし・福祉・環境



岩橋ちよみ

右京区 京都市会議員
Iwahashi Chiyomi



岩橋 ちよみ

Iwahashi Chiyomi

Profile

1956年兵庫県生まれ。華頂短大卒。
太秦安井保育園勤務。無認可保育所
開設。市会議員5期。経済総務委員会
委員長などを歴任。新日本婦人の会
右京支部委員、京建労右京支部主婦
の会会員、右京生活と健康を守る会
会員。

家族は夫とネコ(ミ一)。

●ご意見・ご要望は下記までご連絡ください。

日本共産党京都市会議員団

2014年3月

京都市中京区河原町御池 京都市役所内
TEL. 222-3728 FAX. 211-2130

E-mail. info@cpgkyoto.jp

京都市会議員団 検索

原発・再生可能エネルギー

「原発ゼロ」、環境を守って!



美浜原発、高速増殖炉「もんじゅ」を視察・調査

2011年6月、京都府議団、兵庫県議団と共同で、若狭湾の原発群である美浜原発、高速増殖炉「もんじゅ」を視察。福井県庁で担当者との懇談したあと調査しました。



福井県庁で担当者から聞き取り(2011年6月)

美浜原発、「もんじゅ」で説明を受けましたが、「もんじゅは21mの高台にあり津波でも大丈夫」とのこと、まさに安全をPRするセンター湖の対策は」と聞くと、「事故は起きないので考えていない」との回答。いかにも、「安全神話」のもとで原発を推進してきた立地県らしい答弁でした。京都市は若狭湾の原発群から80km圏内。独自の対策をすすめることが重要だと改めて痛感した視察・調査となりました。

「原発ゼロ」へ 緊急行動(東京)に参加

女優の吉永小百合さんなど広範な人たちが賛同して開催された2011年7月の「原発ゼロをめざす7・2緊急行動」に参加しました。

東京・明治公園には2万人が参加。原発をなくそうとの熱気、福島の被災者のふるさとへの思い、女子学生による「私たちの未来に危険な原発はいりません」の発言など。「原発ゼロ」へ、参加者が心を一つにした緊急行動となりました。



「原発ゼロをめざす7・2緊急行動」(2011年7月)

蹴上水力発電所、高知県梼原町を視察

2011年夏、日本における水力発電の発祥の地である蹴上水力発電所を党議員団で視察・調査しました。

また、「自然エネルギー100%」をめざしている高知県梼原(ゆすはら)町の水力発電所などを視察・調査しました。



高知県梼原町のペレット工場を視察(2011年8月)

再生可能エネルギーを! 嵐山小水力発電等を調査

「原発ゼロ」を実現するためにも、再生可能エネルギーの利用を推進することが必要で、小水力発電もその一つ。2012年3月に、ドイツの環境団体ブンドの創始者であるエアハルト・シュルツさんと嵐山・桂川の小水力発電を視察しました。

また、昨年8月の党議員団の他都市調査では、都留市の小水力発電などを調査。再生可能エネルギーの抜本的普及へ取り組んでいきます。



嵐山の小水力発電を調査(2012年3月)

被災地復興へ 宮城県石巻市へ

2012年8月、日本共産党議員団で震災から1年5ヵ月の被災地宮城県石巻市を視察しました。津波で被害にあった門脇小学校や仮設住宅を訪れ、被災者の方々と懇談。「くらしの復興はまだこれから」という実態をお聞きしました。

宮城県の復興計画は、住民のくらしよりも大型開発事業優先です。引き続き、被災者によりそった支援が重要です。



石巻市の仮設住宅のみなさんと(2012年8月)



まちづくり

住民とともに住みよいまちづくりへ

JR太秦駅 一日も早く エレベーター設置を

JR太秦駅の「バリアフリー化基本構想」が策定され、エレベーターが設置されることになりました。

2015年度目標となっていたエレベーター設置について、昨年4月には、「まちづくり懇談会」のみなさんとともに「一



JR西日本にエレベーターの早期設置を要望(2013年4月)

日も早く実現してほしい」とJR西日本に申し入れ、要望しました。JR西日本は、「目標の2015年度までできるだけ前倒ししたい。14年度に出来ればと考えている」と、初めて完成時期を示して回答しました。引き続き、狭いホームの改善などの安全対策を求めています。

阪急西院駅の バリアフリー化実現へ

JR太秦駅につづき、阪急西院駅が2013年度に「バリアフリー化基本構想」を策定する「重点整備地区」に選定され、昨年8月には「基本構想素案」が発表されて、いよいよバリアフリー化が実現することになりました。



阪急西院駅のバリアフリー化を求め、市と懇談(2012年5月)

8月には駅舎の改築、エレベーターの設置、改札口を新たに2カ所新設するなど、具体的な考え方も示されました。「住みよい西院学区をつくる会」をはじめとする地元のみなさんの長年の要望と運動、議会の論戦が実ったものです。

嵯峨車道踏切の 改善を

市建設局との現地調査にも取り組み、踏切の改善をねばり強く求めてきた「車道踏切の改善を望む会」のみなさんは、昨年9月にも京都市と懇談しました。

懇談では、「安全を基準とする発想で考えてほしい」「弱者の立場で」「南北通路はできたが、踏切が生活道路」などと、切実な声が相次いで出されました。安全第一は住民のみなさんの願いです。



市建設局とともに現地調査(2011年8月)

市バス運賃の均一区間が 嵯峨・嵐山地域に拡大

右京区の「市民の足を守る会」のみなさんは、市バスの充実を求め、毎年、「市民集会」を開いて運動の交流をはかるとともに、綾部市の運行する「あやバス」の視察調査、市交通局との懇談などにねばり強く取り組んできました。

右京区民の長年の要望であった市バス運賃均一区間が、今年3月から嵯峨・嵐山地域に拡大されることになり、喜ばれています。



綾部市の「あやバス」を視察 (2011年7月)

山ノ内浄水場跡地の活用は 住民合意で

廃止された山ノ内浄水場の跡地活用について、御池通から南側には「京都学園大学」の進出が決まり工事が進められています。御池通り北側の活用計画は未定のままです。

「跡地活用をはかる会」のみなさんが、「北側の土地は市民が憩える場」と、市に要望を届け、議会でも、「北側の活用は住民合意ですとめるべき」と求めています。



山ノ内浄水場跡地を視察(2013年2月)

防災対策総点検中間報告について

防災対策総点検中間報告で「若狭原発の事故がおこっても、福島のような複合災害のリスクは少ない」「放射性物質が飛散しても(琵琶湖の)水中で希釈される」とあるが、市長の認識はどうか。

(市長) 今後、地震想定が明らかになれば、適切に対応する。モニタリングポストが新たに3カ所設置される。滋賀県など近隣自治体とも連携して適切に対応する。

耐震改修を促進すべき

建築物の耐震化は遅れたまま。木造住宅は57%、市営住宅は57.1%。最優先で取り組むべき。

(市長) 民間木造住宅や緊急輸送道沿道を重点に、市民・事業者・行政が一体となり目標達成に努める。

国保料の引き下げを

国保会計は3年連続で単年度黒字。市民生活が厳しい今こそ国保料を引き下げるべき。資格証明書・短期証の発行、財産差し押さえを中止すべき。

(局長) 累積赤字があり、引き下げは出来ない。資格証明書発行や差し押さえは、負担の公平性からやむを得ない。個々の世帯の状況をきめ細かく聞き、適切に判断している。

子どもの医療費助成制度の拡充を

京都市は、府の制度に上乗せのない唯一遅れた自治体。政令市でも拡充している。1日

議会

みなさんの声を議会に届けて



も早く、通院も小学校卒業まで拡充すべき。

(局長) 厳しい財政のもと課題はあるが、引き続き拡充に向け、精力的に検討する。

JRR太秦駅のバリアフリー化を

JRR西日本は、「国・府・市と協力しエレベーターが設置できるようにしたい」と発言。協議をすすめ早急な具体化を。5000人以上の未整備駅も次期構想にもりこみ改善を。

(市長) 条件が整いつつあり最優先で早急に整備できるよう取り組む。5000人以上の未整備駅は検討会議で協議する。

2013年2月市会
本会議代表質問

即時原発ゼロ、大飯原発稼働ストップを

福島では16万人が避難生活を強いられ、深刻な事態。市民のいのちと安全を守るため、即時原発ゼロの立場にたち、大飯原発の稼働中止を求めるべき。

再生可能エネルギーの普及を

京都議定書発祥の地・京都市こそ自然エネルギーの本格的普及を。市民協同発電の補助制度をつくり、金融機関やNPOと共同し、ゼロ円システムや融資制度導入を。

(市長) 新地球温暖化対策計画で位置づけた。いっそう再生可能エネルギー普及拡大に取り組む。新計画で市民協同発電を明記した。NPO等と連携し、新たな仕組みづくりを検討する。

(副市長) 福島事故の影響は深刻。中長期的には脱原発依存、短期的には稼働が必要。大飯原発は活断層の有無について徹底調査と安全基準を策定した上で、再審査を行い、安全確保に万全を期すべき。

京都市全域を防災地域に、
ヨウ素剤の備蓄体制を

福島原発事故をふまえ、防災地域を京都全域に広げ、ヨウ素剤のきめ細かな備蓄と服用の体制をつくるべき。

(副市長) 原子力部会の意見をふまえ、32.5kmにかかる地域も環境放射線モニタリングを継続する。ヨウ素剤は、32.5kmをこえる地域に備蓄するため、予算を計上している。

エネルギー基本条例をつくり、
再生可能エネルギーの普及を

小規模分散型、地域循環型の政策をすすめるエネルギー基本条例をつくり、産業政策として位置づけ、市民とともに再生可能エネルギーの普及を。

上下水道料金値上げをやめよ

厳しい市民生活の実態、値上げによる市民生活・京都経済の影響をどう考えるか。国に補助制度の確立を求め、市としても補助を復活して老朽管対策をすすめ。値上げを撤回せよ。

(市長) 今回の料金改定は老朽化した水道管の更新財源確保が目的。国に財政支援制度の拡充を求めている。

山ノ内浄水場跡地活用は
住民合意で

浄水場跡地は市有地であり、市民の財産である。北側の活用について、市民的議論や要望をふまえ、合意と納得の上ですすめよ。

(局長) 今後も住民に丁寧に説明する。北側用地は、南側用地の大学と相乗的な立地効果が得られるようにする。

常任委員会や予決算特別委員会でも、「台風18号被害対策」「通学路の安全対策」をはじめとして、みなさんの切実な要求の実現を求めてきました。

地域の要望・要求を実現



JR山陰本線有栖川踏切の狭くなっていた北西角が改善されました。



森ヶ東町のダックスの壁が一部補強されました。



太秦乾町「止まれ」など交通規制の道路標識が改善されました。



嵯峨鹿王院通りの道路が補修されました。



太秦森ヶ西町～三条通り水路の改修工事が行われました。



嵯峨中山公園に高いフェンスが設置されました。



嵯峨清滝道歩路に信号機が設置されました。



太秦野元町に安全標示などが設置されました。



太秦梶ヶ本町の水路がきれいになりました。



嵯峨北堀町にLED街灯がつけました。



太秦前ノ田小学校(小学横)「通り抜けできません」の看板が設置されました。

2013年9月市会 市長総括質疑で追及



敬老乗車証を守れと署名活動

敬老乗車証の見直しをやめ、
制度を守れ

敬老乗車証の見直し案は、基本は乗るたびに負担する応益負担。これまで通りの利用、社会参加促進となるのか。京都市や党議員団の市民アンケートでも、「ありがたい宝物の制度。絶対続けて！」と折るような声が出されており、真摯にうけとめるべきだ。「京(みやこ)プラン」実施計画で社会保障費などを削減するもの。福祉の後退となるものであり、見直しをやめ、制度を守り充実させ、負担軽減に努めるべきだ。

めるべきだ。

(副市長)
社会参加を支援、応益負担の導入により、持続可能で若年層の負担を軽減するものにする。

国保料を引き下げ、
差し押さえをやめよ。
都道府県一元化に反対を

国保料の徴収率向上へ徴収強化をすすめ、差し押さえ件数は、2005年から10倍に増加。学資保険の差し押さえ、滞納保険料の徴収強化で市民生活を追い込んできた。分納で支払っていた人が1ヵ月分遅れただけで勤務先にまで給与の差し押さえを通知するやり方は、きめ細かく丁寧な相談にのっていると言えるのか。

単年度赤字が続く中、なぜ、国保料を引き下げないのか。市民の命を守る立場に立ち、高すぎる国保料を引き下げ、資格証明書の発行はやめよ。保険料の引き上げにつながる都道府県一元化に反対すべき。

(理事者) 相談にのり、減免などの説明をしているが、事情なく払わない人には差し押さえは当然。累積赤字が続く中、引き下げはできない。都道府県単位化は必要である。国の責任をはたさよう求める。

市民とともに 市政を動かす

14人の日本共産党京都市会議員団

14人の日本共産党京都市会議員団は、市民のみなさんと力をあわせ、市民いじめの悪い政治とキッパリ対決して、市議会でもねばり強い論戦をおこなうとともに、つねに建設的な対案を示し、みなさんの切実な要求や願いを次々に実現させてきました。



安倍内閣の暴走にストップを

国民の「知る権利」を奪う秘密保護法の強行成立、消費税増税、社会保障解体、TPP強行、原発推進など、安倍自公政権は、あらゆる分野で暴走を続けています。共産党議員団は、安倍政権の暴走にストップをかける国民的運動の先頭に立つとともに、門川市長に対し「市民のくらしを守る立場から国に対し物を言うべき」と迫ってきました。しかし、市長は国いなりで、消費税増税や社会保障解体も推進の立場です。市長与党も昨年11月市会に56団体から出された「増税中止」の請願を不採択にしました。

秘密保護法は廃止すべき



4月からの消費税増税中止を

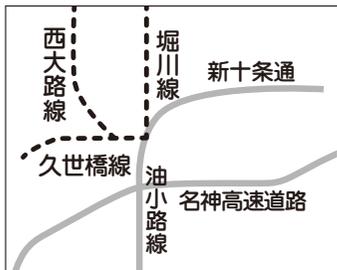


ムダな大型公共事業をストップさせる

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

高速道路未着工3路線

共産党議員団は、ムダと環境破壊の市内高速道路建設に当初から反対してきました。残る未着工3路線（堀川線・西大路線・久世橋線）の総事業費は2900億円。計画の中で、「計画の中止を繰り返して求めてきましたが、2012年3月の市議会でも、市長は事実上、「廃止」を表明しました。



未着工3路線

市民サービス切り捨て、職員削減の「京プラン」は撤回を

4年間で250億円の福祉・教育予算を含む経常経費を削る「京（みやこ）プラン」実施計画は、国の構造改革路線をそのまま京都に持ち込むもので、くらしを守るためには、「京（みやこ）プラン」の撤回が必要です。

市バス・地下鉄運賃、水道料金の値上げ中止を

消費税増税にあわせた市バス・地下鉄運賃の値上げ、上下水道料金の値上げが提案されましたが、これに反対して議会で論戦をおこなったのは日本共産党だけでした。他党派・無所属の議員は、昨年10月からの水道料金値上げも含め、すべての値上げ提案に賛成しました。



「市民の宝物」

敬老乗車証を守れ

敬老乗車証について、京都市は、乗るた

台風18号被害への緊急対策と復旧支援に全力

市内にも大きな被害をもたらした昨年台風18号。共産党議員団として、200カ所をこす被害現場を調査し、緊急の対策と復旧支援などについて、京都市に3次の申し入れを行いました。

引き続き、すべての被災者の復旧支援と一日



台風18号の被害対策について京都市に申し入れ

びに一定のお金を払う「応益負担」の制度に変えようとしており、「敬老乗車証を守れ」の市民のたたかいは大きく広がっています。昨年9月に開催された「敬老乗車証を守るう！市民集会」には170人が参加。今年2月までに、市長に対して8388筆の要望署名が提出されました。



焼却灰溶融施設 契約解除

共産党議員団は、試運転開始後もトラブルが続いた焼却灰溶融施設について、「技術的に未完成の施設であり、ムダづかいの典型だ」と批判。市民のみなさんとともに「稼働中止」を求めてきましたが、昨年8月に住友重工との「工事契約解除」に追い込みました。

みなさんと力をあわせ、切実な要求を次々に実現

市営住宅の風呂がまは京都市の責任で取り替えに
 請願の紹介議員になったのは共産党だけ。毎年、市に要望してきました。

市バス均一運賃区間が嵯峨・嵐山地域に拡大

10年来の地域住民のねばり強い運動と市議会での論戦が実ったものです。

西賀茂北部の柵野に市バス路線が走ることに

西賀茂車庫までの市バス路線延長を求めてきた住民の悲願が実現したものです。

JR太秦駅、阪急西院駅等でバリアフリー化が前進

2014年度はJR桃山駅、阪急嵐山・松尾大社・上桂駅で基本構想が策定されます。